

第36号



ニュース

ニュース

CCW駒沢選手 スポーツ観光マイスターに任命

2月28日にCCW レッドスパークスホッケ一部に所属している駒澤李佳選手が新たに「スポーツ観光マイスター」に任命された。これは、観光庁が2010年7月に創設され世界的、全国的に活躍するスポーツの関係者や選手、元選手を「スポーツ観光マイスター」として、任命するシ



テムとなっている。スポーツを通して国際交流など、様々なことでスポーツ観光、訪問観光のPRにつながることを目的としており、その他の任命された方としては、フリップ・トルシエさん(元サッカー日本代表監督)、大林素子さん(元バレーボール全日本選手)、福島千里さん(陸上競技選手)、寺田陽二郎さん(レーシングドライバー)など駒澤選手を含めると17人になる。チームでは3冠を目標に日本代表では、4月に岐阜県で行われるロンドンオリンピック最終予選を獲得し、ロンドンでのメダルを目標に、今年更なる飛躍の年にしてもらいたい。ロンドンオリンピック日本代表候補には小野真由美選手などの選出が予想されるのでロンドンオリンピック出場に向けてチームに貢献して欲しい。

オリンピック最終予選の日程 会場:岐阜グリーンスタジアム

4月25日(水)	日本 VS オーストリア
4月27日(金)	日本 VS マレーシア
4月29日(日)	日本 VS チリ
5月1日(火)	日本 VS アゼルバイジャン
5月3日(木)	日本 VS ベラルーシ



不屈のランナー尾方剛 現役引退



男子マラソン 05世界選手権銅メダリスト、08北京五輪代表の尾方剛(38)が3月2日、「競技の第一線から退く」と現役引退を表明した。エントリーしていたびわ湖毎日マラソンを調整不足により欠場、ロンドン五輪へ

の道は閉ざされてしまった。昨年12月の福岡国際マラソンに進退を懸けて臨んだが2時間46分39秒の425位に終わり「福岡でロンドン五輪を狙うしかないと思っていた。ここで線を引かなければいけないと思う」と、引退をほのめかしていた。尾方は、広島・熊野高から山梨学院大を経て、1996年に中国電力に入社。世界選手権に2003年から3大会連続で出場。05年には銅メダルを獲得した。08年には北京五輪に出場、日本人トップの13位と健闘した。尾方の競技生活は故障と挫折との戦いだった。大学時代に故障し成績が低迷、一時は強いストレスから全身脱毛症をも経験したがそこから這い上がった。中国電力に入社後もしばらく不調が続くが、04年ニューイヤー駅伝で中国電力を初優勝に導くなど次第に力を取り戻していく。そして、2005年世界陸上ヘルシンキ大会で銅メダルを獲得した。尾方の努力が報われ世界に羽ばたいた瞬間だった。栄光と挫折。苦難多き競技人生。だからこそ多くの人に愛され応援されてきた。逆境から必ず復活する不屈のランナー・尾方剛。数多くの感動をありがとう。

中国電力
陸上競技部

ワクナガ・メイプル共に4位で幕を閉じる

3月4日、日本ハンドボールリーグのレギュラーシーズン最終戦が行われた。男子のワクナガレオリックはすでにプレーオフ進出を決めているが、女子の広島メイプルレッズは勝たなければプレーオフに進むことができないという大事な試合となった。最終戦、ワクナガレオリックの相手は琉球コラソン。ここで勝利を収めいい流れのままプレーオフに臨みたい。試合開始早々からワクナガはNo.23キャプテン東長濱を起点にチーム全体がよく動き、試合の主導権を握った。結局31-21の大差をつけて最終戦を白星で飾りプレーオフに弾みをつけた。一方の女子広島メイプルレッズは3月4日にプレーオフ進出をかけてソニーと対戦。勝者がプレーオフ進出ということだけに両者白熱した試合が予想された。試合開始から両チームとも一歩も退かない状況が続く。しかし後半6分過ぎにソニーが5連続得点し均衡が崩れ一時は9点もの差がついてしまう。広島メイプルレッズは2年連続のプレーオフ進出とはならなかった。そして3月10日、日本リーグ制覇をかけたプレーオフが開催され、ワクナガレオリックは準決勝でレギュラーシーズン一位の大崎電気と対戦。プレーオフは負けたら終わりのトーナメント戦であるためお互いに一歩も譲らぬ大接戦となった。最初にチャンスが訪れたのはワクナガ。相手の反則により7Mスローのチャンス。流れを引き寄せたかったが相手GKNo.1浦和の好セーブにより得点にはならなかった。さらに相手の選手退場により一時は数的優位に立つものの、ペースを掴むまでには至らず、悔しい惜敗となった。ワクナガレオリックは結局4位でシーズンを終えた。ワクナガレオリック・広島メイプルレッズの今シーズンは共に4位という結果で幕を閉じた。勝ち負けの世界で目指すはひとつ。試合後に深々と頭を下げる選手たちに最大級の拍手と感謝を送りつつ、来季の躍進に期待し、そして広島に“日本一”を掲げてほしいと願うばかりだ。

個人賞一覧

GK7mスロー阻止率

ワクナガ

1位 松村昌幸選手 Ave 0.429

メイプル

1位 堂面妙子選手 Ave 0.320

ベストセブン

メイプル

高山智恵選手



